



令和4年度
水上村立水上中学校
学校だより

ここふる
co-co-ful | ここがふるさと

令和5年3月22日
第14号

文責 校長 松原 康近

水上中学校閉校記念式典

いつまでも心の中に…

3月11日、28人ものご来賓の皆様のご臨席の下、千葉教育委員会のご発声により「水上中学校閉校記念式典」が開式されました。本校黒崎教諭の伴奏で国歌斉唱をし、中嶽村長の式辞、教育委員会代表の西野教育長のご挨拶、松原の校長挨拶の後、ご来賓を代表して、第24代校長の志満和夫様からご挨拶をいただきました。水上中学校への熱い思いをお話しくださいました。

来賓紹介後、生徒を代表して田代悠希さんが、水上中学校への感謝と水上学園の発展の願いを述べてくれました。

校旗返納には、岡本橙歩くんと川原莉央さんが登壇し、丁寧にたたんで、最後は村長のもとに返納されました。

参列者全員による校歌斉唱では、加藤璃久くんが伴奏してくれました。西教育委員が閉式を宣言され、第一部が終了しました。

引き続き休憩後、小野閉校委員会副会長の開式で、第二部が始まりました。石橋会長の挨拶があり、昭和35年度卒の山口俊介様の記念講演がありました。熊本工業高校を何度も甲子園に導かれた名将でもあられます。中学生時代の思い出を「1万本桜とともに」という演題でお話しくださいました。続いて、卒業生の写真を中心とした、水上中学校の歴史を振り返るDVDを視聴した後、生徒昇降口前に集合し、記念植樹と記念碑除幕がありました。記念植樹の生徒代表は谷山凌太くんでした。記念碑除幕は、6人の歴代生徒会長の方々で行われました。前生徒会長として橙歩くんと前々生徒会長として昨年度卒の田代眞希くんも担当してくれました。

米本副会長の閉式の言葉で、閉校記念式典の全日程が終了しました。

在校生、来賓の皆様、閉校委員会の皆様、職員と、みんなで水上中学校の閉校の場面を心に刻むことができました。

水上学園初代9年生(卒業生)で整備しました!

しゃくなげ通り



左は「水上学園」の校章です。「水上村の象徴である市房山を背景に、村花であるシャクナゲを中央に配置されたデザイン」となっています。(広報「みずかみ」8月号より)

3月2日(木)と6日(月)、2年生の技術の時間で、正門に入って左側にシャクナゲ



を植樹しました。シャクナゲを植える際は、学校運営協議会

でお世話になっている杉野孝司さんにご指導いただきました。また、同じく学校運営協議会の委員でいらっしゃる藏座國美さんにはシャクナゲの苗を5株もいただきました。誠にありがとうございました。

2年生に「シャクナゲの花を見たことがある人」と尋ねましたら、約4割の生徒が見たことがないということでした。



た。(実は私、松

原も実物を見たことがありません。)
「水上学園の校章にもあるシャクナゲを身近に感じられるように」ということで、シャクナゲを植樹するという趣旨も伝えました。

正門からテニスコートの方へ続く道を「しゃくなげ通り」と命名して、学園生みんな



で大切に育てて、シャクナゲの花を愛でてほしいという思いが込められています。

「開校の年の最上級生の皆さんに植えてもらい、ずっと大切にすることを引き継いでほしい」ということを2年生には伝えました。



水上中学校閉校記念事業

Photo Gallery

フォトギャラリー

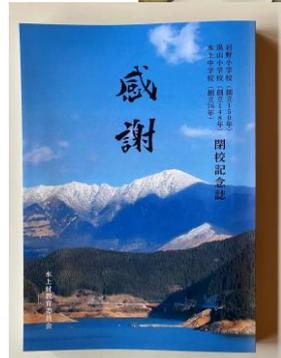
閉校記念式典 (第1部)



閉校記念式典 (第2部)



閉校委員会



ピ〜ス!